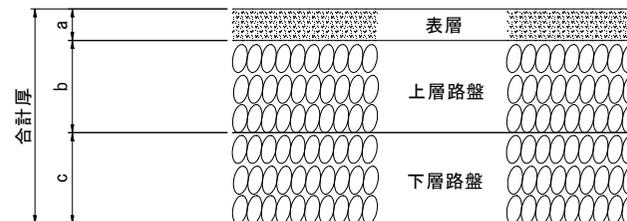


番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
501	05	AS	001	アスファルトコンクリート舗装N3	R2.07
	舗装類	アスファルト舗装	アスファルトコンクリート舗装N3 (L交通)		S=-

舗 装 構 成

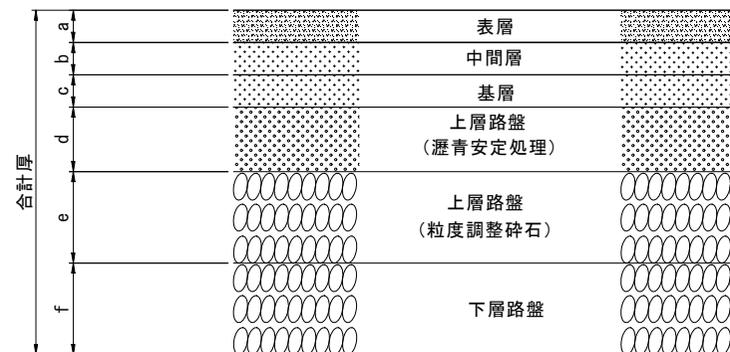
名 称	使用材料名	単位	設計CBR				等値換算係数
			3	4	6	8	
表 層 a	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	1
上層路盤 b	粒度調整碎石	cm	15	15	15	15	0.35
下層路盤 c	クラッシュラン	cm	20	15	15	15	0.25
合計厚		cm	40	35	35	35	
目標値TA			15	14	12	11	
TA			15.25	14	14	14	



番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
502	05	AS	002	アスファルトコンクリート舗装N4	R2.07
	舗装類	アスファルト舗装	アスファルトコンクリート舗装N4 (A交通)		S=-

舗 装 構 成

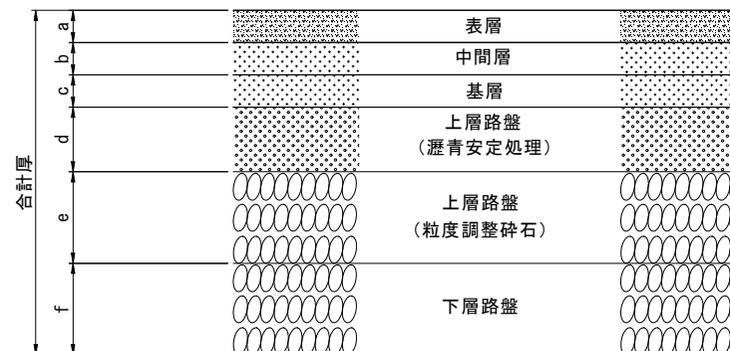
名 称	使用材料名	単位	設計CBR					等値換算係数
			3	4	6	8	12	
表層 a	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	5	1
中間層 b	加熱アスファルト混合物	cm						1
基層 c	加熱アスファルト混合物	cm	5					1
上層路盤	瀝青安定処理 d	cm						0.8
	粒度調整碎石 e	cm	15	20	15	15	15	0.35
下層路盤 f	クラッシュラン	cm	15	25	25	15	15	0.25
合計厚		cm	40	50	45	35	35	
目標値TA			19	18	16	14	13	
TA			19	18.25	16.5	14	14	



番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
503	05	AS	003	アスファルトコンクリート舗装N5	R2.07
	舗装類	アスファルト舗装	アスファルトコンクリート舗装N5 (B交通)		S=-

舗 装 構 成

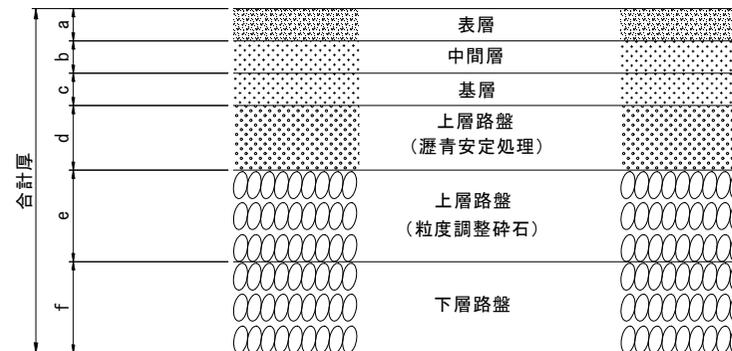
名 称	使用材料名	単位	設計CBR					等値換算係数
			3	4	6	8	12	
表層 a	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	5	1
中間層 b	加熱アスファルト混合物	cm	5	5				1
基層 c	加熱アスファルト混合物	cm	5	5		5	5	1
上層路盤	瀝青安定処理 d	cm			10			0.8
	粒度調整碎石 e	cm	15	15	15	15	15	0.35
下層路盤 f	クラッシュラン	cm	25	15	15	15	15	0.25
合計厚		cm	55	45	45	40	40	
目標値TA			26	24	21	19	17	
TA			26.5	24	22	19	19	



番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
504	05	AS	004	アスファルトコンクリート舗装N6	R2.07
	舗装類	アスファルト舗装	アスファルトコンクリート舗装N6 (C交通)		S=-

舗 装 構 成

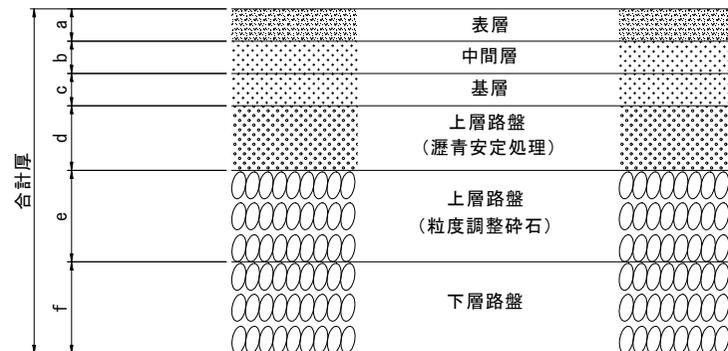
名 称	使用材料名	単位	設計CBR					等値換算係数
			3	4	6	8	12	
表層 a	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	5	1
中間層 b	加熱アスファルト混合物	cm	5	5		5	5	1
基層 c	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	5	1
上層路盤	瀝青安定処理 d	cm	10	10	10			0.8
	粒度調整碎石 e	cm	20	15	15	15	15	0.25
下層路盤 f	クラッシュラン	cm	20	15	20	25	15	0.25
合計厚		cm	65	55	55	55	45	
目標値TA			35	32	28	26	23	
TA			35	32	28.25	26.5	24	



番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
505	05	AS	005	アスファルトコンクリート舗装N7	R2.07
	舗装類	アスファルト舗装	アスファルトコンクリート舗装N7 (D交通)		S=-

舗 装 構 成

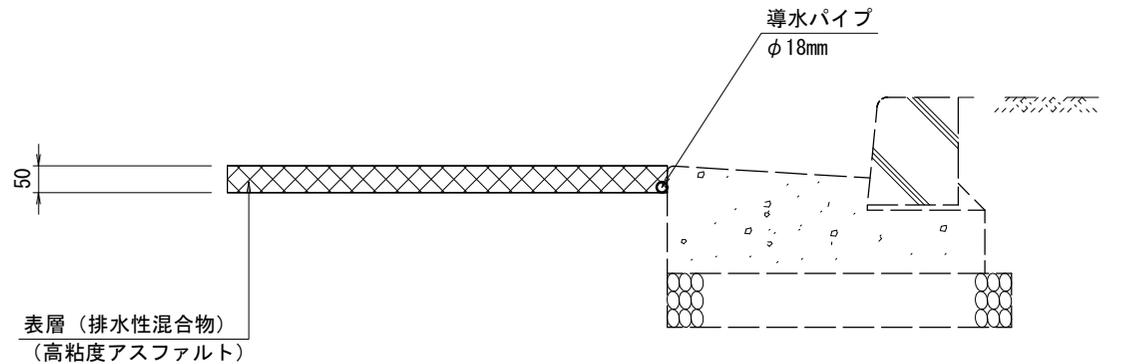
名 称	使用材料名	単位	設計CBR					等値換算係数
			3	4	6	8	12	
表層 a	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	5	1
中間層 b	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	10	1
基層 c	加熱アスファルト混合物	cm	5	5	5	5	5	1
上層路盤	瀝青安定処理 d	cm	20	15	15	10		0.8
	粒度調整碎石 e	cm	20	15	15	15	15	0.35
下層路盤 f	クラッシャラン	cm	30	35	20	25	20	0.25
合計厚		cm	85	80	65	65	55	
目標値TA			45	41	37	34	30	
TA			45.5	41	37.25	34.5	30.25	



番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
506	05	ASH	001	排水性舗装	R2.07
	舗装類	アスファルト舗装補修	アスファルトコンクリート舗装補修用（排水性舗装）		S=1/10

導水パイプ材料表 (10m当り)

材 料	形状(外径)	数 量	単 位
導水パイプ	φ18mm ステンレス製	10.0	m



〈適用条件〉

- (1) 幹線道路の補修時、排水性舗装対応路線の施工に使用する。

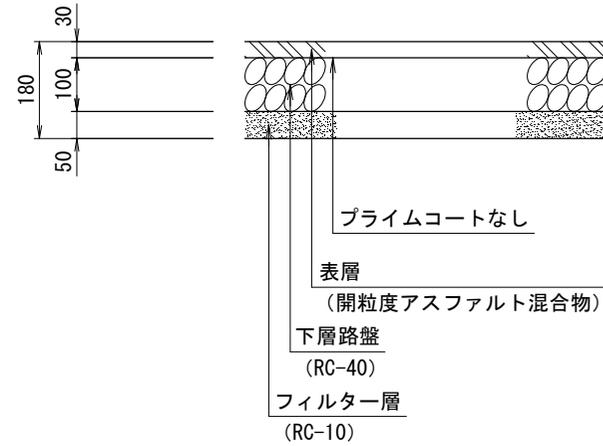
番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
507	05	CS	001	セメントコンクリート舗装	R2.07
	舗装類	セメントコンクリート舗装	セメントコンクリート舗装		S--

(単位 : cm)

交通量の区分	路床の設計CBR		3		4		6		8		12以上		
	路盤												
N ₃ (L) 交通	粒状材料		15(20) ↓ 20 ↓ 25	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石 ↓ クラッシュラン	15(20) ↓ 25	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	15(20) ↓ 20	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	15(20) ↓ 15	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	15(20) ↓ 15	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	<注意事項> ()内は曲げ強度を 3.9MPaとする場合 である。
	セメント安定処理 (粒状材)		15(20) ↓ 15 ↓ 20	コンクリート版 ↓ セメント安定処理 ↓ クラッシュラン	15(20) ↓ 15	コンクリート版 ↓ セメント安定処理	15(20) ↓ 15	コンクリート版 ↓ セメント安定処理	15(20) ↓ 15	コンクリート版 ↓ セメント安定処理			
N ₄ (A) 交通	粒状材料		20(25) ↓ 20 ↓ 25	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石 ↓ クラッシュラン	20(25) ↓ 25	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	20(25) ↓ 20	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	20(25) ↓ 15	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	20(25) ↓ 15	コンクリート版 ↓ 粒度調整碎石	<注意事項> ()内は曲げ強度を 3.9MPaとする場合 である。
	セメント安定処理 (粒状材)		20(25) ↓ 15 ↓ 20	コンクリート版 ↓ セメント安定処理 ↓ クラッシュラン	20(25) ↓ 15	コンクリート版 ↓ セメント安定処理	20(25) ↓ 15	コンクリート版 ↓ セメント安定処理	20(25) ↓ 15	コンクリート版 ↓ セメント安定処理			

番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
508	05	FS	001	透水性アスファルト舗装	R2.07
	舗装類	歩道舗装	歩道舗装一般部（透水性アスファルト舗装）		S=1/10

一般部
透水性アスファルト舗装



番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
509	05	FS	002	歩道舗装切下部	R3.10
	舗装類	歩道舗装	歩道舗装切下部 (A種・B種)		S--

A種
アスファルト

アスファルトコンクリート舗装

(単位：cm)

		A — 1	A — 2	A — 3
切下幅員		W=4.0m以下	W=8.0m以下	W=12.0m以下
対象とする車両		乗用車、小型貨物	普通貨物、大型貨物	大型特殊自動車等
表層	再生密粒度 アスファルト混合物	5	5 (半たわみ) ※	5 (半たわみ) ※
中間層	再生粗粒度 アスファルト混合物	—	—	5
基層	再生粗粒度 アスファルト混合物	—	5	5
上層路盤	RM-40	—	15	15
下層路盤	RC-40	15	15	25

※耐久性や景観等を考慮して、表層は半たわみ舗装とすることができる。

B種
コンクリート

セメントコンクリート舗装

(単位：cm)

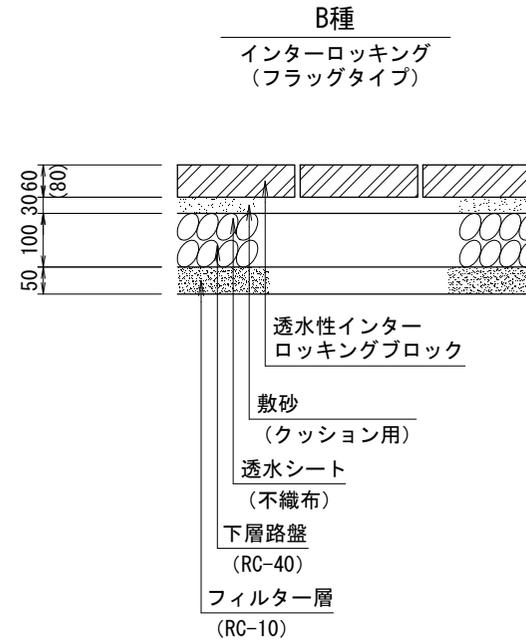
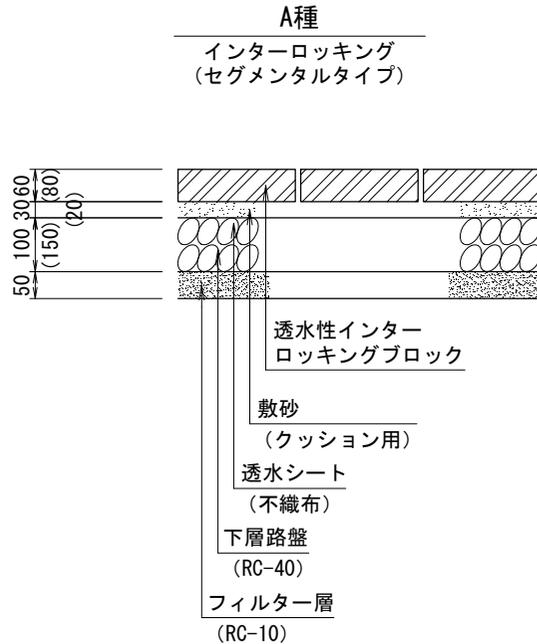
		C — 1	C — 2	C — 3
切下幅員		W=4.0m以下	W=8.0m以下	W=12.0m以下
対象とする車両		乗用車、小型貨物	普通貨物、大型貨物	大型特殊自動車等
表層	コンクリート版	15	20	25
下層路盤	RC-40	15	20	20

区分の目安

A — 1 C — 1	個人住宅 (2t車程度まで)
A — 2 C — 2	共同住宅 商業施設 コンビニ 宅配配送所 パーキング など
A — 3 C — 3	大規模商業施設 ガソリンスタンド 重車両車庫 生コン、Asコン工場 建材、重機械工業 工業団地 など

※区分・切下幅員等は、目安であるため、
現地状況を踏まえ、適切に決定すること。

番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
510	05	FS	003	インターロッキング	R2.07
	舗装類	歩道舗装	歩道舗装インターロッキング (A種・B種)		S=1/10



<仕様>

区分Ⅰ：歩行者、自転車の交通に供する歩道、自転車道
 区分Ⅱ：歩行者や自転車以外に、最大積載量39kN以下の
 管理用車両等が通行する歩行者系道路

<注意事項>

- (1) 区分Ⅱの場合、ブロックの厚さを8cmとし、その曲げ強度は3.0MPa以上とする。
- (2) 路床細粒分の上昇、粒状路盤材の細粒分流出による路床支持力の低下、浸透能力の阻害などが懸念される場合は、フィルター層もしくは不織布を路床上に設置する。フィルター層および不織布は路床の浸透性能以上の透水性能を持ち、細粒分の流出防止に効果がある砂や不織布を使用する。フィルター層の厚さは5cm程度を標準とする。
- (3) 一般車両の乗入に伴う切下げ部など、本構造図により難しい場合は別途検討すること。

<注意事項>

- (1) フラッグタイプは管理用車両等も含め車両の通行しない箇所に使用すること。
- (2) 8cm厚は、フラッグタイプブロックの寸法が298×598, 398×598, 398×398, 448×448, 498×498mmに適用する。
- (3) 路床細粒分の上昇、粒状路盤材の細粒分流出による路床支持力の低下、浸透能力の阻害などが懸念される場合は、フィルター層もしくは不織布を路床上に設置する。フィルター層および不織布は路床の浸透性能以上の透水性能を持ち、細粒分の流出防止に効果がある砂や不織布を使用する。

番号	大分類	中分類	小分類	工種名	作成年月
511	05	KMH	001	切回道路舗装	R2.07
	舗装類	切回し舗装	切回道路舗装		S=-

切回道路舗装

舗装計画交通量のランク下げ適用表

切回道路期間	本線の舗装計画交通量区分			備 考
	N7	N6	N5	
1～2年	N6	N5	N4	
1年未満	N5	N4	N4	

〈注意事項〉

- (1) 上表は、舗装計画交通量別の疲労舗装破壊輪数の基準値から設定したものである。
- (2) 切回道路期間が2年以上に渡る場合は、別途考慮すること。